

地域再生計画評価調書

計画の名称	芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト		事業の名称	芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト		
<b>事業概要</b> <small>(計画の事業概要から一部抜粋)</small>	<p>本事業は、町田市を中心市街地から徒歩で行くことのできる芹ヶ谷公園を“芸術の杜”をテーマに再整備することで、観光業の振興を図るとともに中心市街地の活性化につなげようとするものである。具体的な施策として、芹ヶ谷公園を美術館ゾーン、アートイベントゾーン、わき水と花の明るいゾーン、さわやかみどりゾーンに分けて公園全体を再整備し、公園の魅力向上を図る。</p> <p>他にも、芹ヶ谷公園内には、自然の中で子どもたちが思いきり遊ぶことができる「冒険遊び場」といった既存の施設があり、こうした既存施設とこれから整備する新しい施設等との連携を図る。以上のような整備を行うことで、芹ヶ谷公園全体の集客力向上につなげていく。</p>					
重要業績評価指標 (KPI)			現状値 <small>(計画開始時点)</small>	実績値 <small>(2022年度)</small>	目標値 <small>(2024年度)</small>	備考
●芹ヶ谷公園の年間観光入込客数 (人)			514,753	802,929	530,000	
●市内で文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合 (%)			25%	11%	36%	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード面では、2021年度に（仮称）国際工芸美術館整備工事の実施設計を一時中断し、2022年4月に再開したものの、2022年度目標の整備工事着手には至りませんでした。なお、2023年3月に実施設計は完了しました。</li> <li>・ソフト面では、“パークミュージアムの将来の姿をみんなで想像・創造し、体験するためのイベント「Future Park Lab」を定期的に開催し、賑わいを創出しました。具体的には、ゆかいな動物たちが顔をのぞかせる「アートな動物園」や、子どもが紙で作った人形を、夜の公園に設置した大きなスクリーンに映してストーリーを作る「影絵のパフォーマンス」、町田出身アーティストや大学生による「青空コンサート」、車に積んだガラス炉でガラスのコップを作る「吹きガラスに挑戦！」など文化芸術を楽しく、身近に感じられ、創作活動ができる空間づくりを進めることで、目標を大幅に上回る年間観光入込客数となりました。</li> </ul>			外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術品を鑑賞するだけでなく、市民が芸術を体験し親しめる空間づくりを進めることは、文化振興の面でも子どもの教育の面でも、非常に大切な取り組みである。文化や芸術を幅広く捉えた“芸術の杜”を目指してほしい。例えば、産業界には歴史に残る機械技術を保存し次世代に伝える「機械遺産」というものもある。こういった文化遺産の展示といった、美術以外の様々な文化も芸術として親しめるような新しい取り組みにも是非挑戦してほしい。</li> <li>・町田駅という市の中心市街地に近接した緑豊かな空間であるので、環境に最大限配慮した施設づくりを心掛け、自然エネルギーなどの次世代エネルギーを積極的に活用し、訪れる市民の環境意識啓発や子どもの教育にも役立てるとよい。</li> </ul>	
2022年度 寄附件数	1件	2022年度 寄附額	100,000円			